2011 年 11 月 10 日

各位

MediciNova,Inc.
代表取締役社長兼 CEO
岩城 裕一
コード番号: 4875 大証 JASDAQ
問合わせ先: 東京事務所代表 副社長
岡島 正恒
電話番号: 03-3519-5010
E-mail: info@medicinova.com

平成 23 年度第 3 四半期報告書提出期限延長承認のお知らせ

2011 年 11 月 10 日 米国 サンディエゴ発 － メディシノバ（MediciNova, Inc.）（米国カリフォルニア州 サンディエゴ、代表取締役社長兼 CEO：岩城裕一）（以下「当社」といいます。）は、平成 23 年度第 3 四半期会計期間（平成 23 年 9 月 30 日終了）に係る四半期報告書の提出期限につきまして、平成 23 年 11 月 9 日付で、関東財務局長より、以下のとおり本四半期報告書の提出期限の延長の承認をいただき、本日受領いたしましたことをご報告いたします。

１． 平成 23 年度第 3 半期報告書の提出期限

・本来の提出期限 平成 23 年 11 月 14 日
・延長承認された提出期限 平成 23 年 12 月 14 日

２． 延長の理由

当社の本国における平成 23 年度第 3 四半期報告書（Form 10-Q）の提出期限は、当該四半期会計期間経過後 45 日以内と定められております。また、日本国内で提出すべき四半期報告書を作成するためには、当社が本国で開示した四半期報告書（Form 10-Q）を翻訳し、日本法に基づく様式に整えた書類を作成するため、本国における開示手続完了から一定の期間が必要になることが見込まれます。そのため、当社は、予め関東財務局長に対して本四半期報告書の提出期限の延長の承認を申請し、この度、上記のとおり承認を受けました。

以上

メディシノバ(MediciNova,Inc.)は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、喘息急性発作、COPD（慢性閉塞性肺疾患)、多発性硬化症をはじめとする神経疾患、神経因性疼痛、薬物依存、喘息、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、切迫早産、尿失禁および血栓症など、多様な疾患の治療を目的とする 6 つの臨床段階の化合物と、血栓症治療を目的とする 2 つの前臨床段階の化合物が揃っております。メディシノバは、当面その戦略として、喘息急性発作及び COPD の治療薬 MN-221 と多発性硬化症、慢性疼痛、脊椎損傷及び薬物依存の治療薬イブジラスト（MN-166/AV411）との 2 つの優先的開発化合物に資源を集中して開発を進めていく予定です。現在 MN-221 とイブジラストのプログラムに関しては、それぞれ米国治験許可申請のもとで現在臨床試験を行いながら、今後のさらなる開発の準備として、戦略的な提携関係を構築することを模索しております。また、他の製品候補につきましても、現金化を試みて参ります。弊社詳細につきましては http://www.medicinova.jp をご覧下さい。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950 （電話 1-858-373-1500)です。

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法(The Private Securities Litigation Reform Act of 1995)に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床試験に関する記述、既存または将来の臨床試験の計画や目的および製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床試験の結果、現段階の臨床試験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床試験のタイミング、費用、計画など、臨床試験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素および当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつもの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまります。当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。